

カキ生育情報

千葉県
平成30年6月号

平成30年5月の気象

平成30年5月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は、第2半旬を除く5半旬で平年を上回った。月平均気温は18.7℃で、平年より1.0℃、前年より0.2℃高かった。

降水量は、第4半旬で降雨がなく、第1、第3及び第6半旬で平年を下回ったが、第2半旬が極めて多かった。月合計は230mmで、平年の132%、前年の200%であった。

日照時間は、第2及び第6半旬を除く4半旬で平年を上回った。月合計は203時間で、平年の115%、前年の89%であった。

表1 平成30年5月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	19.0	16.6	16.1	21	22	0	42	30	49
2	14.9	17.3	18.4	110	26	13	18	28	31
3	18.7	17.5	18.0	35	38	68	49	27	24
4	19.9	17.8	17.7	0	25	0	41	28	36
5	18.8	18.4	20.7	36	32	0	37	29	44
6	20.6	18.8	20.0	28	31	34	16	35	46
平均/計	18.7	17.7	18.5	230	174	115	203	177	229

樹の生育

開花期は表2に示した。暖地園芸研究所の開花盛期は、「西村早生」が5月3日、「松本早生富有」が5月7日、「富有」が5月11日であった。平年に比べて「西村早生」が15日、「松本早生富有」が16日、「富有」が12日早く、前年に比べて「西村早生」が16日、「松本早生富有」が17日、「富有」が13日早かった。開花期間は「西村早生」が6日間で平年より2日短く、「松本早生富有」が10日間で平年より2日長く、「富有」が11日間で平年より3日長かった。

いすみ市の「西村早生」の開花盛期は5月4日で平年及び前年より15日早かった。市原市の「松本早生富有」の開花盛期は5月5日で、平年より16日、前年より11日早かった。開花期間はいすみ市が9日間で平年より1日長く、市原市が12日間で平年並であった。

以上のように、本年は開花盛期が極めて早く、全ての調査地の全ての品種で調査開始以来最も早かった。

着花量は、暖地園研では「西村早生」は平年並であり、「松本早生富有」及び「富有」は平年より多かった。いすみ市の「西村早生」及び市原市の「松本早生富有」はいずれも平年並であった。

暖地園研ではいずれの品種も晩霜害等はなく、果実の生育や新梢伸長は順調である。

表2 カキの開花期（月、日）

品 種	調査地	開花始期			開花盛期			開花終期		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	4.29	5.15	5.14	5.4	5.19	5.19	5.8	5.23	5.24
	暖地園研	5.1	5.14	5.15	5.3	5.18	5.19	5.7	5.22	5.23
松本早生富有	市原市	4.28	5.16	5.12	5.5	5.21	5.16	5.10	5.28	5.25
	暖地園研	5.2	5.19	5.21	5.7	5.23	5.24	5.12	5.27	5.27
富 有	暖地園研	5.5	5.20	5.21	5.11	5.23	5.24	5.16	5.28	5.27

平年：暖地園研は1990年～2017年、いすみ市は1998年～2017年、市原市は1999年～2017年の平均値

6～7月の作業

摘 果

摘果作業は果実肥大を良好にし、花芽分化を促進して隔年結果を防止するので、早めに行いたい。例年であれば生理落果が終了する6月下旬頃から始め、7月上旬頃までに終わらせるが、本年は生育が進んでいるため、生理落果の発生状況を観察して適期に実施する。

着果量の目安は、1果当たり葉数を20～25枚程度とし、葉が5枚以下の結果枝には着果させない。目標とする着果数は、10a当たりで「西村早生」が12,000果、「松本早生富有」が11,000果、「富有」が12,000果程度とする。また、摘果と同時に予備枝に使わない不定芽を摘除し、通風を良好にして病害虫の発生を予防する。ただし、着果量が少ない園では、健全な果実でなくともできるだけ果実を着けておき、枝管理も必要最小限にとどめ、樹勢バランスを保つようにしたい。

不完全甘ガキの「西村早生」では、種子数が少ないと渋果になる。そのため、果頂部が凹んでいる果実は必ず摘果し、腰高の果実を残すようにする。なお、8月中旬頃と収穫前の9月にも渋果を樹上選果するので、7月の時点では目標着果数より2割程度多め(10a当たり14,000～15,000果)に果実を残しておく。

病害虫防除

6月中旬から7月下旬まではうどんこ病、落葉病、炭疽病とカキノキマダラメイガやカキノヘタムシガなどが類の防除時期である。ただし、「西村早生」では、使用する薬剤によっては薬害が生じるので十分注意する。防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>